

あかしん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

企画・制作：株式会社 新聞ビル

父は音楽家、母は歌謡曲の先生。幼いころから、家の中には、イタリア歌曲か歌謡曲のいずれかが流れていた。父は声楽家、母は歌謡曲の先生。幼いころから、家の中には、イタリア歌曲か歌謡曲のいずれかが流れていた。

ポップオペラは、こうして生まれた

1983年、北海道札幌市生まれ。

北海道に生まれたことが大きい。「広大な大地、澄み渡る空、深い藍をたたえた海」ボクの作曲りの原風景」だと言っ。空と海と大地に抱かれた音楽作りがノリマサ流。狭い空間で締め切りを追われるのは流儀に合わない。

藤澤ノリマサさんは、「ポップオペラの貴公子」と呼ばれている。

ポップオペラは、曲のサビの部分に有名なクラシック音楽を入れ、サビ以外は新たに作曲したポップスメロディーになっている。サビの部分はイタリアオペラの発声法で歌って、それ以外はポップスの発声法で歌うので、ポップス好きな方にもクラシック好きな方にも楽しんでもらえる新しいジャンルだ。

ラジオビタミンの「ノリノリクラシック」は本

当におもしろかった。藤澤さんのノリの良さでクラシック音楽をわかりやすく解説してもらおうと企画したら、大人気のコーナーになった。彼が出演する日はお便りがたくさん来て、リスナー拡大に役かってくれた。「毎回バツハさんとか、ベートーベ

ンさんとか親しみを込めながら、一人の作曲家に焦点を当てて解説しましたが、正直、音大時代よりよく勉強しました」と藤澤さんは苦笑する。



撮影・鶴崎燃

元氣のでてくる“ことばたち”

(215)

村上信夫

れていた。いつも音楽があったのだ。この両親のもとに生まれていなければ、今はない。藤澤さんの音楽に向けての道が拓かれたのは、小学校時代だ。1年生の時、テレビで歌手を見て、「自分も歌手にな

父の道と母の道、 両方やればいいんだ 〜ポップオペラ歌手 藤澤ノリマサさん〜

りたい」と思うようになった。3年生で、母が、勝手に応募した夏祭りのカポエラ大会で優勝し、以来人前で歌を唄うことが好きになった。5年生で、国語の教材になった詩に曲をつけた。それが、学校の記念行事の曲に採用された。全校生徒1,000人が歌ってくれて、音楽の計り知れない力を感じた。高校1年で、カナダに語学留学する。盲目の音楽の先生がピアノの弾き語りで、セリーヌ・ディオンの「レット・トーク・アバウト・ラブ」を弾いてくれた。体中に電撃が走った。涙があふれた。

その翌年、そのセリーヌ・ディオンが来日した。札幌から東京ドームまで聞きに行った。イタリアのオペラ歌手、アンドレア・ボッチェリとデュエットしていた。イタリア語と英語で歌うのを聞いて、僕一人でこれが出来たらいいのと思った。このとき、父の道か、母の道かと思っていたが、両方やればいいという思いが芽生えた。

2002年、北海道から上京して、武蔵野音楽大学へ進んだ。大学卒業後、ソロアーティストとして



俳画／イネ・セイミ

■村上信夫プロフィール

2001年から11年に渡り、『ラジオビタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。

現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」をしながら、文化放送『日曜はがんばらない』（毎週日曜10:00〜）、月刊『清流』連載対談〜ときめきトークなどで、新たな境地を開いている。各地で『ことば磨き塾』主宰。

1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』（近代文藝社）『ラジオが好き』（海竜社）など。趣味、将棋（二段）。
<http://murakaminobuo.com>

もので、ポップオペラの原型が出来上がった。その後、バツハ、ベートーベン、アルビノーニ、マスカーニ、ドビュッシーの曲を藤澤流にアレンジして、どんどんファンを増やしていった。

藤澤さんのファンは、30代から、上は限らない世代の、ほとんどが女性。「ノリくんの歌を聴いていると幸せな気持ちになれる」という人たちがばかり。彼の歌を聴くことを生きがいとしている人たちがばかり。

だが藤澤さんは、「ファン層はデビュー当時と少し変わって、芸術性を認めてくれるファンが多くなりました。デビューした頃は、テレビにたくさん出て知名度を上げたいと思っていましたが、徐々に本物の作品や音を届けたいと思うようになりました。自分の求めるものが変わった頃から、音を聴きに來てくれる人が増えたんです」と自己分析している。

耳の病気がもたらしたもの

4年前の秋、コンサートツアーが始まる直前、藤澤さんは、突発性難聴になった。絶対音感があるから、鍵盤の音がなくても音程がとれるが、そのときは実際の音より低く感じたので違和感を覚えたらしい。だが他の人が客観的に聴くといつもと変わらぬ歌に聞こえるらしい。その頃はライブやキャンペーンでとても忙しかったので、疲れがたまっていたのかもしれないと思った。最悪の場合は、コンサートも全部キャンセルかなと考えた。一時期はうつになりかけた。「作曲にも意欲がわかないし、自分はどこに向かっているのかわからなくなってしまうて」と、その時の心境を吐露する。

ぼくは、耳のことを聞いて、コンサート初日を迎えるまでは、気がかりでしかたなかった。その日は客席でドキドキしながら見ていた。彼は、ボクのことを「東京のお父さん」と呼んでくれるが、まさ

しく父親の心境そのものだった。だから、第一声を聴いたときは「ああ大丈夫だ」と胸をなでおろした。「僕も楽屋で村上さんの顔を見たときは胸がつかまってしまつて……。ただ、あの苦しみを乗り越えたことで何か大きなものをつかんだような気がするんです」「自分にとってはこれが精いっぱいだと開き直って臨んだ結果、かえっていい出来になったような気がします」

辛い思いはしたが、結果的によかった部分もあったようだ。会場には、いろいろな悩みを抱えている人たちがいたろうが、彼が難聴と闘っている姿やがんばっているところを見て励まされた人もいたはずだ。

実は、突発性難聴を発症したとわかったのは、藤澤さんと雑誌の対談をする日だった。当日の朝、彼からキャンセルの申し入れがあった。心配して駆けつけたコンサートは、彼はケロッとしていて、いささか拍子抜けしたのだが、後日談を聞いて、顔で笑ってなんとやら……。彼の成長の糧になった事態であつたことはもとより、深刻ぶらない彼にも、感心したのだった。



好評
発売中

■イネ・セイミプロフィール



フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展俳画家の（故）川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元（故）村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中

ところ 常滑屋
とき 俳画教室月二回 午後一時三十分〜三時三十分
会費 一回、一、二五〇円（三ヶ月分前納制）
問合せ ☎〇五六九（三三五）〇四七〇

インディアンフルート教室開講しています

誰でも簡単に音が出せる楽器です。あなたも今日からインディアンフルート教室を開講しています。

会場 マツイン楽器店
ミュージックガーデン武豊
開講日（月2回）
10:00〜11:00
形態 グループ
会費 1ヶ月8,802円（入会金5,400円）
詳しくはマツイン楽器店本社 教室係まで
フリーダイヤル：0120-37-5576

講師 イネ・セイミ
（日本インディアンフルートサークル協会ディレクター）
ネイティブアメリカンのスピリットが感じられる
インディアンフルート。その音色はやさしく心に響きます。
1レッスン・30分4,000円 会場・半田市朝日丘
申込み 0569-89-7127
お問合せ ine.seimi.jp@gmail.com

受講生募集!!

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』 就職

— 自分ドラマつくろう — (65) 岡田 清治

姪の就職2

「興味深い論文ですね」

るり子は渡されたコピーに吸いつけられるように目を通した。

それはオックスフォード大学の研究者、カール・フレイとマイケル・オズボーン両博士が二〇一三年九月に発表した「雇用の未来―私たちの仕事はどこまでコンピュータに奪われるか?」という論文であった。

「本当にロボットに奪われるのですか」

るり子は半信半疑でその職種一覧表を見ながら真三にたずねた。

「研究者は英国人だが、データは米国の雇用データに登録されている702種類の職種を調査対象として選んで分析したのだ」

―今後一〇〜二〇年以内にコンピュータやロボットに仕事を「奪われそう」な 職種：電話による販売員、データ入力、銀行の融資担当者、金融機関の窓口係、簿記・会計監査、小売店のレジ係、料理人、給仕、タクシー運転手、理髪業者などは80%〜99%が奪われるという。

一方、仕事を「奪われそうにない」職種：医師、小学校の教師、ファッションデザイナー、エレクトロニクス技術者、情報通信システム管理者、弁護士、ライター・作家、ソフトウェア開発者、数学者、旅行ガイドを取り上げている。

「奪われそうにない多くの職種はコンピュータに強い人たちが多いですね」

「そうだね。医師でも診察室の中にコンピュータを置いて、検査データ見ながら患者と話している。一昔前には見られなかった光景だよ」

「そう言えば、手術でもロボットの力を借りてやっている映像がテレビで映されていましたね」

「医学が高度化すればするほど、コンピュータに精通してないと対応できなくなる時代だよな」

「ただ、ロボットに仕事を奪われないということは、人間としての医師の仕事は残るということですね」

「ここ二〇年以内はそうだろうが、ロボットのもつ知識、データは人間・医師よりはるかに多いから、俺は残る医師の数はかなり限定されてくると思っている」

「ロボット医師の診察を信用できるのですか」

「つまり、ロボットを信用できるかという問題だが、いまでも自動販売機でモノを買う時、信用しているのではないか。つまり慣れだと思ふのだが…」

「自動販売機がロボットと言われるのに多少、違和感を感じますが…」

「それはただの鉄の箱だからそう思われても仕方がない」「やはり動きがないと、人はロボットと感じないですね」

「だけど、お客の好みに合わせて商品を提供、釣銭も正確に渡しているのだから、人が売るより正確だよ。自動車だって、人は座席に座ってハンドルを交通規則に沿って動かしているだけだから、広い意味でロボットと言えるよ」

「そういえば、自動運転の車がアメリカでは公道でテスト

に入っていると新聞にでていましたね」

「だからタクシーの運転手がなくなると予想されているのだ」

「では交通事故もなくなるのですか」

「クルマの数が増えるのかどうかにもよるが、少なくとも自動運転のクルマの事故が減らないと、人はそうしたクルマを購入しないだろうね」



写真：サカナを狙う人と鳥(著者撮影)

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX…0569-34-7971
メール：takamitsu@akai-shinbun.net

■プロフィール

著者：岡田清治おかだせいじ



一九四二年生まれ ジャーナリスト
(編集プロダクション・NET108代表
著書に「高野山開創二百年 いっぱんさん行状記」「心の遺言」
あな たは社員の全能を引き出せます
か!」「リヨンで見た虹」など多数

「免許なんか、どうなるんでしょうね」

「とにかくロボット化社会がいま急速に進んでいることは間違いない。ソフトバンクが実用化している人間型ロボット「ペッパー」は人と会話できるということで注目されている」

「本当に人間と会話ができるのですか」

「俺も新聞で読んだだけだから、実感はないが、あるレストランではお客の注文をこの人間型ロボット・ペッパーが聞いて、テーブルに運んでいるそうだ」

「そうなりますと、給仕はいらなくなりますね」

「こういう人間型ロボットをアンドロイドと呼んでいる。世界的なロボット工学者の石黒浩氏は人間そっくりなアンドロイドを次からつぎへとつくって話題を呼んでいる」

「そう言えば、人間国宝の桂米朝さんが亡くなった時に、生前の米朝さんそっくりのロボットができたことが報道されましたね」

「そうだよ。あれも石黒浩氏が制作したロボットで、米朝のあらゆる落語、データが聞けるということだ」

「そうしますと、いつまでも生きていような気分になりませんか」

「だから彼は宗教とか葬儀、墓などもそのあり方が近い将来、激変すると言っている」

「そうですね、家の中に祖先のアンドロイドがいますと、仏壇はどうなりますの。先祖に感謝の祈りをささげると言っても、仏壇のなかのロボットが反応してしゃべり出すと腰を抜かすのと違います」

「今度 夏目漱石アンドロイドを制作すると発表された」

「そうですね。そんな記事が出ていましたね」

「これは学校法人二松学舎が創立一四〇周年事業として漱石没後一〇〇年の命日、十二月九日を目指して制作に取りかかるということだ」

「興味深いですね。携帯、インターネット、スマホなど急速に普及しましたね。ロボットだって安くて便利だとわかると、いつぱんに普及するかもしれませんね」

「そういうことだよ。ニュースの八割までロボットに取って代わるという予測もある。だいたい編集の整理とか校閲の仕事はAIの方が上を行くことは十分、予想される。

サミットの光景を見ていて、会議はベテラン通訳の同時通訳で自由に話し合っているが、移動時やディナーのテーブルでもAIによって自由に話される時代がすぐそこまできているような気がする。そうになると翻訳や通訳の仕事は激減する。日本人は英会話がダメだと文科省も小学校教育に語学教科に力を入れているが、AIが普及すればその心配もなくなるように思う。そうしたら自分の好きな学問に集中できるようになるのと違うか」

「そうでしたら舞さんがインドへ留学する意味もなくなるのではないですか」

「それは一〇〜二〇年先のことだから間に合わないよ」

「インドはインターネットやコンピュータが発達している国だから、むしろ先取りして学べるのかも知れませんね」

「インドのコンピュータソフトはいまや世界一のレベルだと言われる。先端のパソコンメーカーの多くはインドのソフトウェア開発・生産力に依存しているといわれて

いる」

二人は冷酒の酔いも手伝ってロボット談議に花をさかしながら、舞の将来はどうなるのかとそれぞれの思いを巡らしながら時の経つのも忘れた。AIやロボットの未来については悲観、楽観入り乱れて論議されている。日本人はどうも悲観論が多いのか、保守的な意見が目立つように思えてならない。

自動車という乗り物も年間数千人の事故死を前提に成り立っている。もし新幹線が数千人の人が死ねば、人は新幹線を利用しないだろう。ところが自動車は新しいモデルが次から次へと開発、販売されている。そして人は事故死を心配しながらもその利便性に負けて利用している。

真三は先日、読んだ雑誌のコラムを思い出して、マグロの刺身をつまみながら口に運んだ。

―このままAI+ロボットが賢くなって人間の知能をはるかに超える技術的特異点をシンギュラリティと名付、三〇年後に起こると警告。悲観論が蔓延する中で人工知能の怖さを払拭するため、人工知能学会は倫理綱領を年内にまとめるという。

世界的なロボット工学者の石黒浩氏は「人間の定義がはつきりしていないのに、シンギュラリティもへったくれもない」と反論。一面ですでに人間を超えているし、まだ到達していないところもある。科学技術の進歩は誰にも止められない、宗教も年中行事として「文化」になっっていく。ロボット化社会は人間の死生観も変えつつあるという。

これからロボット談議は熱をおびてくるだろうが、そんな中でAIが「会話・雑談」の能力で人間に追いつけるのか―という考えを問うている『記憶の森 意識と人工知能』(茂木健一郎著)は注目される。いまのAIはビッグデータを活用した統計的アプローチのため狭きゆえに卓越するわけで、そこに存在論的危機の本質があるという。雑談するロボットのニーズがないに過ぎないとロボット通は一蹴した。ロボット革命に求める期待と悲観は膨らむ一方であるが…。

「どうされましたの。先ほどから黙っていて、どうしたのです?」

「いやね、雑誌のコラムを思い出したのだよ」

「どういうことが書いてあるのですか」

「人工知能学会ができていて、倫理綱領を近くまとめるというのだ」

「ロボットと倫理ですか、必要なのですか」

「AIとかロボットといっても所詮は人間がつくるのだから、人をだますことを考える研究者が出てくることも考えられるわけだ。その昔、バイオ技術が発達して遺伝子組み換えによる人間改造の議論が起こり、神の領域に踏み込んでほならないと、厳しい倫理規定がつくられたことがあるが、ロボットもそのような時代が間近かに迫っていることだと思うね」

「要するにロボットが人間を超えるということですか」

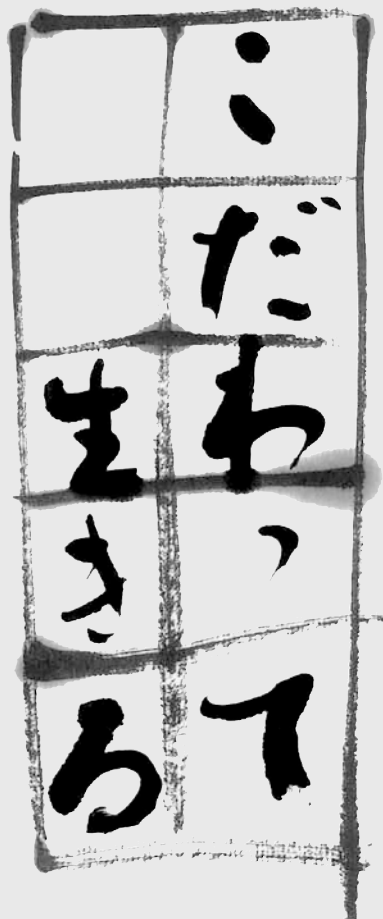
「石黒浩氏は人間の定義がはつきりしないのに、ロボットが人間を超えるという議論はおかしいという。すでにある分野ではとっくに超えているし、これから超えていくだろうが、それでいて本当にロボットだけの社会ができるのか、大いに疑問だというのだ」



夏の思い出
上高地の
帝國ホテルで
昼にハンバーグを
食べた
一時でした



絵手紙集



絵文 縦山善久

返文 小林玲子

縦山善久

昭和十一年碧南市で生まれる。
丸栄陶業株式会社代表取締役。
碧南商工会議所会頭。
愛知県陶器瓦工業組合理事長。
全国陶器瓦工業組合連合会理事長などを歴任。
平成十三年藍綬褒章受賞。
平成二十二年旭日小授章受賞。
丸栄陶業株式会社取締役会長 現在に至る。
京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・
洋画コース大学院修士課程二回生。

小林玲子

碧南市に育つ。
西尾市在住
共著「西尾の民話」
童話「サケの子ピッチ」
随筆「海辺のそよ風」
(中経コラム「閑人帳」より)
ミュージカル脚本
「みぐりちゃんのおうち」ほか
童話集
「タアタとバアバのたんけんたい」

一等避暑地からの涼風が届きました。
ありがとうございます。
帝國ホテルの、格式と瀟洒な佇まいが調和した
上高地ならではの雰囲気です。
若かった頃ドタ靴でふうふう歩きながら
横目で眺めたことがあります。
優雅にランチとは羨ましい！
昨日は御園座に行つて参りました。ありがとうございます。
情緒深く楽しい舞台でした。
頂く絵手紙は本当に楽しみです。
居ながらにして方々に出かけたり見たり
聴いたりできますから。
今度は何処かしらと待っております。

美の回廊 Vol.24

水野 伊津子 「旅の楽しみ編」

ベルギースケッチ旅行から無事戻ってきました。現地はちょうど夏のロングバケーションをとる時期と、夏のセールなどが重なってテロの脅威はどこへやら大変な人出でした。ただし、入国のセキュリティは厳しく、ベルギーのブリュッセル空港では自動小銃を抱えた軍の兵士が金網を巡らせ、一方通行にした玄関口に立ち、仮設テントですべての人の手荷物をエックス線にかけてからししか空港へは入れませんでした。

ベルギーは西にフランス、東にオランダ、南にドイツにはさまれた、四国の約1.67倍の小さな国です。北と南に文化も生活圏も分かれていて、話す言語も違います。北側は主にオランダ語、南側はフランス語とドイツ語です。

今回は、南側のデュルビュイ (Durbuy) に1週間北側のブルージュ (Brugge) に1週間、それぞれ貸別荘を借りて滞在しました。今年のヨーロッパは天候不順でとにかく着いた日から連日、雨、雨。1日中降るというわけではなく一日に2度程スコールのような降り方です。絵を描いていると、にわかに黒い雲が来たと思うとザーときて慌てて避難するという毎日でした。そして何より寒いのにびっくり、6月末なのに最低気温10度、最高気温19度、北海道より北の緯度なので納得せざるをえないですが、外で絵を描いているとしんしんと冷えてきました。

さて絵を描いて自炊して一日が終わるころ、テレビ放送はフランス語かドイツ語かオランダ語なので (BBC放送は英語) 娯楽がありません。私たちはトランプを持って行きます。トランプなんて一年に一回この旅行しかしませんが、日本から遠く離れて、3人きりで住んでいるんですから、仲良くコミュニケーションをとることは大切です。これが仲良くできるかは疑問ですが、7ならべで負けず嫌いが3人寄っているので白熱して結構盛り上がりです。勝敗表をつけ旅の最後にパフェをおごられる約束です。

もう一つ楽しみは、骨董品市です。ヨーロッパではどこの街でも骨董品市があります。週末には必ず近隣で開かれる市には、野菜果物・チーズ・手芸品・燻製サラミ・花屋・食べ物屋の屋台のほかに骨董品が軒を連ねます。特にベルギーはヨーロッパ中から買い付けに来るほど、安くていいものが手に入ると有名です。立派な店構えをもつアンティークショップでは手が出ませんが、プロカンテと呼ばれる古道具市なら交渉次第で面白くなります。朝7時から始まる市には、開き切る前から目当てのものを見つけようと客がうろうろし始めます。最初はさりげなく「これっていくら?」「30ユーロだよ」「OK サンキュー」と離れて、また店を閉じそうな頃を見計らって声をかけ、「15ユーロ?」「NO! 25ユーロ」「じゃあいいわ」「OK 20でいいよ」「18にしてよ」しぶしぶといった感じで「OK」内心やった!とガッツポーズをしながらにこやかに握手する。さらに何個か買って合わせてまけさせるていうのもいい結果を生みます。

重いから (手荷物) 高いからとあきらめたら、出会いは一期一会で日本に帰ってきてから師匠などは「ああーあの手風琴を買えばよかった」とずーっという羽目になります。

買った骨董品は教室で使うモチーフになります。師匠はフラットマンドリンとランプ、私はデルフトの壺と花瓶を買ってきました。それを見るたびに旅の思い出がよみがえります。

携帯の画面だけに見入っているのではなく、もっと季節は移り変わり、セミの声も変わりゆく自然と触れ合い、生きている人間を相手に話し合い、わかれようと思えば、きっと戦争やテロや危険思想も影をひそめると思うのです。



ブルージュ スケッチ淡彩



小川を独占するカダヤシの群れ

「カダヤシが沢山いたよ」と、いつも行き付けの喫茶店でしゃべり掛けてきたK氏。「どこにいる」と聞けば、「裏の水槽に入れている」と。早速、見に行けば、三十程の大きな水槽に、五十匹ほどのカダヤシが、うようよ。どここの川にこんな

「カダヤシが沢山いたよ」と、いつも行き付けの喫茶店でしゃべり掛けてきたK氏。「どこにいる」と聞けば、「裏の水槽に入れている」と。早速、見に行けば、三十程の大きな水槽に、五十匹ほどのカダヤシが、うようよ。どここの川にこんな

知多の動植物雑記 (三三六)

原 穰

はメダカで、カダヤシは丸くなっている。尻鰭の違いは、カダヤシは前記の通り、雄では棒状に伸び、雌は、普通の鰭の形をしているが、メダカでは、雌雄共に長方形をしていて、雌より雄の方が少し縦長になっている。

カダヤシは、北アメリカ原産の種で、漢字で書けば蚊絶やし。水の汚れに強く、雑食性で、プランクトンや小昆虫、藻類までも食べるというの驚きである。

勿論、蚊絶やしの名の通り、当時アメリカで流行したと言われるマリア伝染性熱病を媒介するというマリア蚊のボウフラを、パクパク食べてくれることから、大正二年にわざわざ輸入したというのに、今やボウフラ退治のみならず、川の小さ、小昆虫まで食べ、てしまう害魚となっていて、カダヤシの棲む川は、他の生物が棲めなくなってしまう。だから①入れない②捨てない③掘けない。である。

ちよつとおじやまします

伊賀焼ましの窯 関 龍郎さん



「いつも、あいつは奥さんと一緒にだ」という、陶芸作家を知らずに紹介したもので、つばり、一緒。いつも二人で、とても仲良しのだ。その陶芸家は、関龍郎さん。三重県伊賀市猿野で作陶している。奥さんも



「いつも、あいつは奥さんと一緒にだ」という、陶芸作家を知らずに紹介したもので、つばり、一緒。いつも二人で、とても仲良しのだ。その陶芸家は、関龍郎さん。三重県伊賀市猿野で作陶している。奥さんも

ご主人のアシスタントとして作陶する。関さんが暮らす猿野は秋が深まれば、山里を染める紅葉のひと味違う趣きを楽しむことができる。自然豊かで温泉もあり、ほっこりできる所という。ザ・日本の風情に一度、行ってみると心を奪われてしまう人も多い、という。関さんの母親が陶芸に興味があった影響で、子供の頃から陶芸教室に母親と一緒に通った。子供ながらに、自分だけのスペシャルな一枚の皿に感銘を受けた。自分の作った作品は、心がきらめくコレクションとして大切にしたい。20代半ばで陶芸を天職とした。20年間がむしゃらだった。今、ようやく陶芸が面白くなってきたと

して、どこかポップな印象を受ける。2013年、めし碗グランプリ展にて陶器部門最優秀賞を受賞した。今後はもっと質のいいものを作陶していきたいと、関さんはいつも思っている。ポジティブなエネルギーを込めて作陶していくこと。それが、絶対的な責任と、関さんはいう。そして、集大成はやっばり日本の真ん中のデパートで個展を開いてみたい、話した。趣味は、奥さんと二人で楽しむ窯元巡り。出掛け先で、たまたま出合ったものを受け入れて、それを楽しむようにしているという。購入した作品は奥さんへのプレゼントとなっている。(赤井伸衣)

若竹俳壇

作品募集 毎月10日までに葉書で発行所へ

いちちはやくつくつく法師鳴き始む

近頃は習慣となり大昼寝

折鶴にオバマ氏重ね原爆忌

窓開けて朝顔眺め挨拶す

時ならぬスモホ持つ群れ蟻地獄

落蟬を拾へば終の声しほる

朝や夕日とどきまる城の松

青春の色かも知れずソーダ水

ベデキユアが下駄より見ゆる盆踊り

蟬時雨はたと鳴き止む雨模様

核弾頭あまたありての原爆忌

凌霄花農小屋にむつ覆ひけり

山の端の夕日に沈む夏野かな

瓜瓞饌饌に観土用丑

内科医院診察室の涼しけり

細き身の置き所なき大暑かな

舟洗う漁師の礼儀盆用意

あの子待つ浴衣姿のげたの音

給ひとつふくみて句作夏の夜

近寄れば稲の花つきの鉄にゆれ

花蘇鉄しのび返しの鉄の錆

窯元の古井戸に沈む秋の風

新都知事送るエールや蟬の声

ペンギンの浮きどころなき大暑かな

忘れ物気付け炎暑や二往復

日の蔭の移りしままに猫昼寝

うすごろも心のうちを見透かされ

なつかしき歌くちぎさむ夏の夜半

夫が彫るハイクラスの花赤し

- 二十五日(月) ◎ギャラリーとこなめ (常滑市陶磁器会館内) 陶芸体験有料：六日(火) 午前九時～午後四時 有料 産地野菜展：八日(木)～十三日(火) 午前九時～午後四時 無料 山田陶山作品展：十五日(木)～二十日(火) 午前九時～午後五時 無料
- 〓〓〓 ◎常滑市観光プラザ (常滑市観光プラザ) MIX 吉川千香子：二日(金)～十二日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 金成潤子 陶展：十六日(金)～二十六日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 神原照代 陶展：三十日(金)～十月十日(月・祝) 午前九時～午後五時 入場 無料
- 〓〓〓 ◎常滑市 昭和レトロのガラス&うつわ展：四日(月) 〓〓〓 ◎小夜夜展：六日(火)～十一日(日) 〓〓〓 ◎切り絵アート展：十七日(土)
- 二十五日(月) ◎ギャラリーとこなめ (常滑市陶磁器会館内) 陶芸体験有料：六日(火) 午前九時～午後四時 有料 産地野菜展：八日(木)～十三日(火) 午前九時～午後四時 無料 山田陶山作品展：十五日(木)～二十日(火) 午前九時～午後五時 無料
- 〓〓〓 ◎常滑市観光プラザ (常滑市観光プラザ) MIX 吉川千香子：二日(金)～十二日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 金成潤子 陶展：十六日(金)～二十六日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 神原照代 陶展：三十日(金)～十月十日(月・祝) 午前九時～午後五時 入場 無料
- 〓〓〓 ◎常滑市 昭和レトロのガラス&うつわ展：四日(月) 〓〓〓 ◎小夜夜展：六日(火)～十一日(日) 〓〓〓 ◎切り絵アート展：十七日(土)

- 〓〓〓 ◎常滑市観光プラザ (常滑市観光プラザ) MIX 吉川千香子：二日(金)～十二日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 金成潤子 陶展：十六日(金)～二十六日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 神原照代 陶展：三十日(金)～十月十日(月・祝) 午前九時～午後五時 入場 無料
- 〓〓〓 ◎常滑市 昭和レトロのガラス&うつわ展：四日(月) 〓〓〓 ◎小夜夜展：六日(火)～十一日(日) 〓〓〓 ◎切り絵アート展：十七日(土)
- 〓〓〓 ◎常滑市観光プラザ (常滑市観光プラザ) MIX 吉川千香子：二日(金)～十二日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 金成潤子 陶展：十六日(金)～二十六日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 神原照代 陶展：三十日(金)～十月十日(月・祝) 午前九時～午後五時 入場 無料
- 〓〓〓 ◎常滑市 昭和レトロのガラス&うつわ展：四日(月) 〓〓〓 ◎小夜夜展：六日(火)～十一日(日) 〓〓〓 ◎切り絵アート展：十七日(土)

- 〓〓〓 ◎常滑市観光プラザ (常滑市観光プラザ) MIX 吉川千香子：二日(金)～十二日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 金成潤子 陶展：十六日(金)～二十六日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 神原照代 陶展：三十日(金)～十月十日(月・祝) 午前九時～午後五時 入場 無料
- 〓〓〓 ◎常滑市 昭和レトロのガラス&うつわ展：四日(月) 〓〓〓 ◎小夜夜展：六日(火)～十一日(日) 〓〓〓 ◎切り絵アート展：十七日(土)
- 〓〓〓 ◎常滑市観光プラザ (常滑市観光プラザ) MIX 吉川千香子：二日(金)～十二日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 金成潤子 陶展：十六日(金)～二十六日(月) 午前九時～午後五時 入場 無料 神原照代 陶展：三十日(金)～十月十日(月・祝) 午前九時～午後五時 入場 無料
- 〓〓〓 ◎常滑市 昭和レトロのガラス&うつわ展：四日(月) 〓〓〓 ◎小夜夜展：六日(火)～十一日(日) 〓〓〓 ◎切り絵アート展：十七日(土)

本語字幕と音声ガイド付き映画「武士の家計簿」二十五日(月) 午後二時、定員三十名 観覧、聴覚障害者の方、健常者どなたでも

- 〓〓〓 ◎武豊町中央公民館 パソコン広場：一・八・十五・二十二・二十九日(各) 午後一時半～同四時半 問合せ NPO 知多ネット 鈴木 〓〓〓 ◎090-8422-4251
- 〓〓〓 ◎パソコンわいわい相談室：十二日(木)各(日) 午後一時半～同四時半 問合せ NPO 知多ネット 田中 〓〓〓 ◎090-2612-1990
- 〓〓〓 ◎親業体験！学習会 批判しないで共感的に話を聞く練習をする。日常生活を振り返り気が付いたこと、困っている事など自由に話し合う。十三日(火) 午前九時四十五分～正午 講師 親業訓練協会認定インストラクター 参加費 千円 問合せ 親業サークル 稲葉 〓〓〓 ◎72-71338 ※当日参加自由
- 〓〓〓 ◎家庭教育セミナー(能力を伸ばすほめ方、叱り方)子育てに関する学習会と質疑応答：十三日(火) 午前十時～正午 参加費 無料 問合せ 知多家庭教育研究会 山下 〓〓〓 ◎72-1902
- 〓〓〓 ◎腸大事講座「腸内環境を改善健やかに生きたい」：二十一日(火) 午前十時～正午 講師 森田久美子さん(腸セラピスト) 定員 二十名 参加費 二百五十円
- 〓〓〓 ◎子育てリフレッシュ講座 バランスボールを使い、身体を歪みを矯正して体形をキープ：二十九日(木) 午前十時半～正午 講師 NPO 法人 Smile Dream 定員 十五名(妊婦・子育て中の親) 参加費 無料
- 〓〓〓 ◎武豊町民会館 ゆめたろう教室 大人の木工教室(組み合わせ自由)：フリーラック：三日(土)～四日(日) 各午前十時～午後四時(二日間連続講座) 定員 十二名(高校生以上) 参加費 千五百円
- 〓〓〓 ◎福寿大学 〓〓〓 ◎みなで歌おう 思い出の歌九日(金) 午前十時～正午 講師 高木幸江さん 参加費 無料
- 〓〓〓 ◎ギャラリー企画展 知多に始まる近代絵画パートVII 生誕一三〇周年横井礼以展：武豊駅発 汽車から見える海と山：十五日(火)～二十一日(月) オープニング・ギャラリー：トリック市野秀樹さん(画家・二紀会委員)名古屋造形大学名誉教授・中山真一さん(郷土美術愛好家) 十五日(火) 午前十時半～同十一時
- 〓〓〓 ◎話し方体験講座：①声・滑舌

- 〓〓〓 ◎武豊町総合体育館 〓〓〓 ◎たけとよチャレンジ大会：新記録に挑戦：十一日(日) 〓〓〓 ◎第四十九回ビーチボール大会：二十五日(日)
- 〓〓〓 ◎長尾児童館 シャボン玉で遊ぼう：十七日(土) 午後二時～同三時
- 〓〓〓 ◎おあし児童館 ゲーム大会：十七日(土) 午後一時半～同三時
- 〓〓〓 ◎富貴児童館 〓〓〓 ◎ありがどうを伝えよう プラバンキーホルダー作り：十七日(土)～十八日(日) 各午後二時～同三時 申込要 三日(土)～
- 〓〓〓 ◎半田町の科学館 〓〓〓 ◎九月の星見会：十日(土) 午後七時～同八時半 月や土星、火星、海王星を観望します。定員 六十名(小学生以上) 参加費 大人三百円 小人 一百円
- 〓〓〓 ◎ナイトプラネタリウム 「緑の小人」と名づけられた天体がありました。天体の名前の謎に迫ります。：十六日(金) 午後七時～同八時半 参加費 大人 二百五十円 小人 一百円
- 〓〓〓 ◎碧南白竹木材(株) 白竹ギャラリー 〓〓〓 ◎大人のための書道「写経&美文」：七日(火) 午後一時半～同三時半 講師 さつき書道会 澤田佳久さん 定員 各八名(予約制) 参加費 写経 二千五百円/回 美文 三百円/回
- 〓〓〓 ◎ねこ・猫ネコ展 作家八組による作品の展示と販売とんぼ玉切り絵・草細工イラスト：七宝・陶器など：九日(金)～十四日(火)

わが家のニューフェイス



田中里歩(1才10ヶ月) 武豊町西門

写真・文	う	す	こ	お	レ	お	最	気					
	と	り	れ	し	バ	父	近	い					
	思	眠	か	ベ	ソ	さ	は	っ					
	い	っ	ら	も	で	ん	話	ぱ					
	ます	て	も	ソ	と	や	せ	い					
田中 佑典	!	毎	ソ	と	る	母	言	走	い	好	歩	こ	
		日	も	っ	う	さ	葉	ソ	日	き	で	の	
		思	雨	も	い	ん	が	ま	の	で		に	
		い	の	ソ	な	と	増	わ	日	寒	外	ち	
		っ	日	ぐ	っ	た	え	っ	も	い	遊	は	
		き	暑	た	な	く	た	い	元	日	び	。	
		り	暑	よ	い	さん	の	ます		も	が	田	
		遊	大	。	な	お	で	。		暑	大	中	
		ほ			。	お						里	

愛とMy Family



美濃谷新(2才2ヶ月) 武豊町中狭

写真・文	元	び	持	よ	収	っ	だ	は					
	氣	た	ち	。	、	て	か	あ					
	に	い	で	ま	11	言	ら	っ					
	産	気	い	だ	月	っ	、	く					
	ま	持	っ	マ	に	て	僕	ん					
美濃谷 誠・ 亜希奈	れ	ち	ほ	を	お	る	も	っ	て	な	た	月	僕
	き	も	い	独	兄	ん	自	僕	ん	だ	に	は	
	て	い	だ	り	ち	だ	分	の	の	け	2	あ	
	ね	ほ	ど	占	ゃ	あ	の	事	呼	ど	歳	っ	
	！	い	、	め	に	。	事	を	ぶ	、	に	く	
		だ	一	し	な	あ	あ	ん	だ	み	名	前	は
		か	緒	た	る	っ	く	く	ん	ん	前	は	新
		う	に	い	ん	ん	く	く	ん	な	は	ま	し
		、	遊	気	だ	は	ん	ん	よ		新	ま	し

誠意と真心で…あんしんのかけはし
葬儀のすべてをお引き受け致します

24時間体制完備

CSK葬祭

フリーコール 0120-33-5909

常滑市 あいち知多農協・冠婚葬祭友の会指定特約店

青海
瑞雲殿

TEL.0569-44-2234(直通)
常滑市青海町1丁目1番地(国道155号線沿い)
100台駐車可能の大駐車場完備



想送庵

家族葬専用 想送庵 常滑瑞雲殿隣接

常滑
瑞雲殿
[本社]

TEL.0569-35-2785(代表)
常滑市北条1丁目34番地
100台駐車可能の大駐車場完備



正社員、パート・アルバイト募集中

事務所・店舗の清掃おまかせください!
年中無休・見積無料

スタッフ
募集中



Towards a Cleaner Life...

有限会社 明光

常滑市新開町2丁目-40

TEL(0569)34-6565 FAX(0569)34-2264

(有)明光 清掃

検索



さわやかライフを応援します。

ドラッグつるみ屋

タルミ店

常滑市樽水町1-141-2
TEL(0569)35-6628

willセラ店

常滑市鯉江本町5-168-2
TEL(0569)34-8815

鬼崎店

常滑市新田町5-81
TEL(0569)43-7778

美味しくて新鮮な地元、知多半島の生鮮食品や、自然の恵み
いっぱい、からだに優しい食材がおすすめです!

ISHIHARA



常滑店

TEL 0569-35-5355

通常営業時間

AM9:30~PM9:00

ジェム電子水を使った手作りパン&クッキーの店



パン工房 グランプラン